

平成30年度 くまもと・わくわく基金

冠基金 東京エレクトロン九州・マッチングギフト

事業報告

団体名： 熊本の大気汚染を考える会

助成事業名： 熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動

(1)実施内容

「熊本の大気汚染を考える会」は、

大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、夏・冬年2回の大気汚染測定を継続して実施して26年になる。

熊本県内150～400カ所程度の大気汚染の測定を実施し、その結果をまとめて、県・市の環境保全課や新聞社にも資料提供を行ってきた。

また、積極的に「環境フェア」での展示アピールや小・中学校等において環境教育講演会、市民を対象生涯学習講座「熊本の大気汚染について」も実施してきた。

(1)実施内容

主な活動

その1

誰にでも簡単に測定できる小型カプセルを使った二酸化窒素濃度測定から汚染状況を把握する活動を行っている。

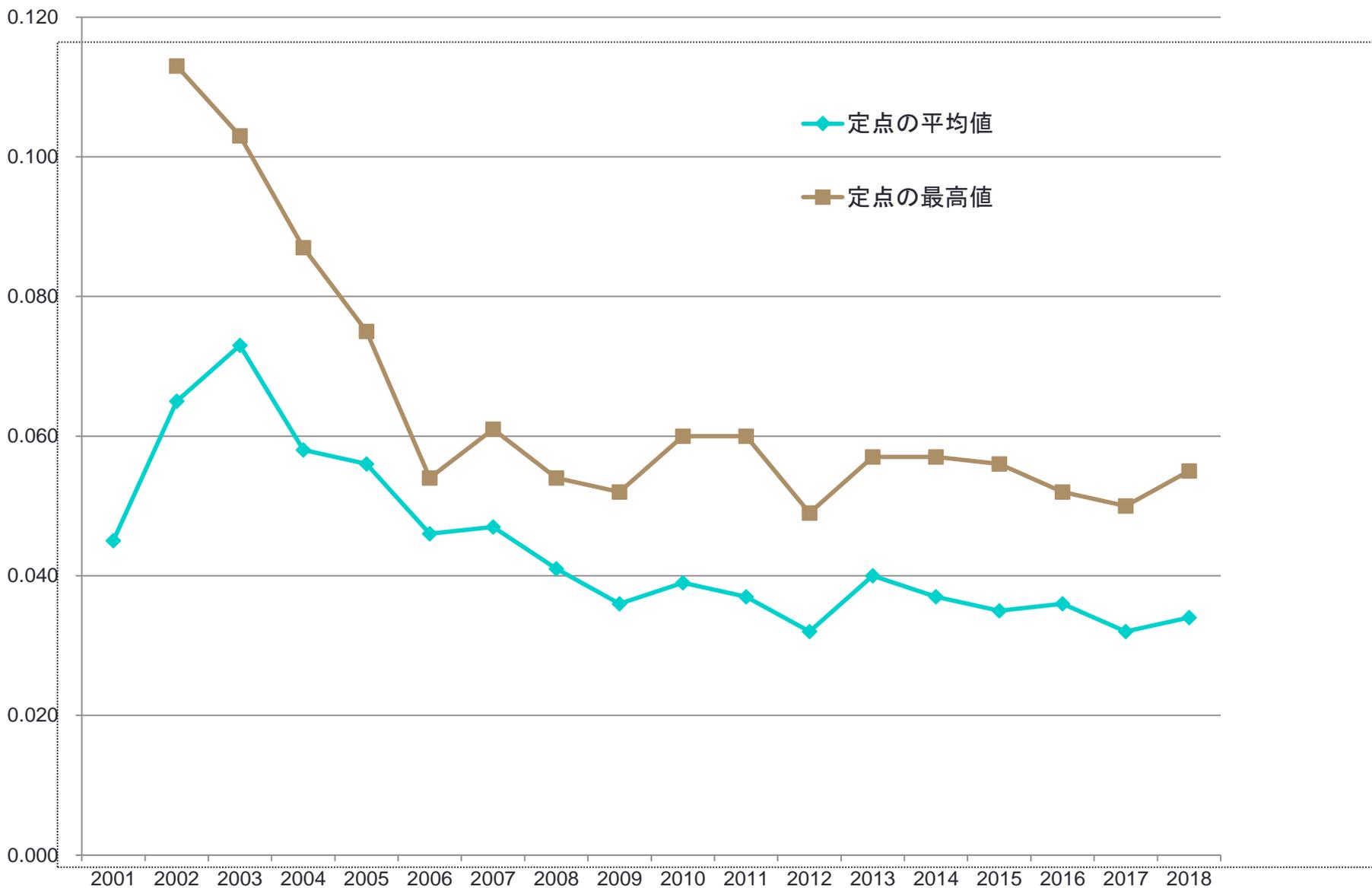
その2

市民や児童・生徒に体験してもらうことにより、大気汚染が身近な問題であることに気づき、大気汚染対策について考えるきっかけづくりになることを目的とする。

(2)助成金の活用

- その1
- 夏(6月)・冬(12月)の2回の大気汚染測定に取り組んだ。
- 測定用カプセルの準備・配布、測定後の回収・整理、そして、結果データの分析等を行った。
- 結果をまとめ、会報「大気汚染を考える会ニュース53号」「同54号」を発刊し、会員や測定協力者等に配布した。

大気汚染冬測定(定点)結果の年次比較



(2)助成金の活用

- その2
- 山鹿市教育委員会からの依頼で、平成30年8月29日、山鹿市市民センターにおいて市民生涯学習講座「熊本の大気汚染の状況について」の講演を行った。約40名の市民を対象に「測定結果の年次比較」「熊本市の児童のぜん息罹患率の年次変化」「25年間の会の活動」について説明した。

(2)助成金の活用

- その3
- 平成30年11月18日「あいぽーと文化祭2018」に参加し、「熊本の大気汚染を考える会活動」や「熊本の大気汚染状況」についてのパネル展を実施した。

示

あいほーと文化祭

冬の 대기汚染測定

あなたも体験してみませんか!

カプセルを

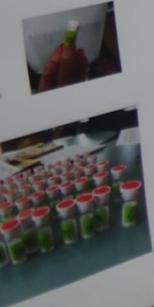
電信柱などに、地面から
1.5mの高さにビニールテープ
などで張り付け、24時間後
に回収するだけです。

簡単です!!

電信柱の
つり
→

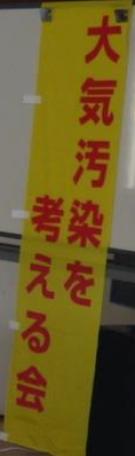
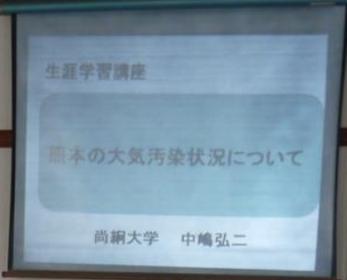


汚染公害をなくし、まち
生活へ身近な環境問題を
と技術開発を推進し、当面



(2)助成金の活用

- その4
- 平成31年2月23日、熊本市北区兔谷公民館において「熊本の大气汚染状況について」の講演会を行った。



(3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)

- 「あいぽーと文化祭2018」では、多くの市民に、活動を知ってもらった。

主催者アンケートの結果、2番目に高い「良かった。関心がある」のポイントシールを頂いた。

参加者から「冬の測定をやってみたい」と自主的に体験を申し出られた方が12名いた。

(3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)

- 山鹿市市民センターや熊本市兔谷公民館での「熊本の大気汚染状況について」の講演会では、参加者との意見交換会ができ、「便利さ快適さばかりを追求しないで、自分たちができる大気汚染対策や環境保全活動について考え、行動していきたい」「子どもたちに熊本のきれいな空気を引き継ぎたい」などの感想をいただいた。

(4)今後の事業展開

- その1
- 積極的に小・中学校での「環境教育講演会」や市民を対象にした「熊本の大気汚染状況について」「大気汚染と健康について」等のテーマで生涯学習講座を実施していきたい。

(4)今後の事業展開

- その2
- 大気汚染測定運動を通して、多くの市民が「自分たちができる大気汚染対策や環境保全活動について考え、行動できる」ように、啓発活動を積極的に行っていきたい。
- この活動を通して、「健康で安全であり、住みやすい熊本のまちづくり」に貢献していきたい。